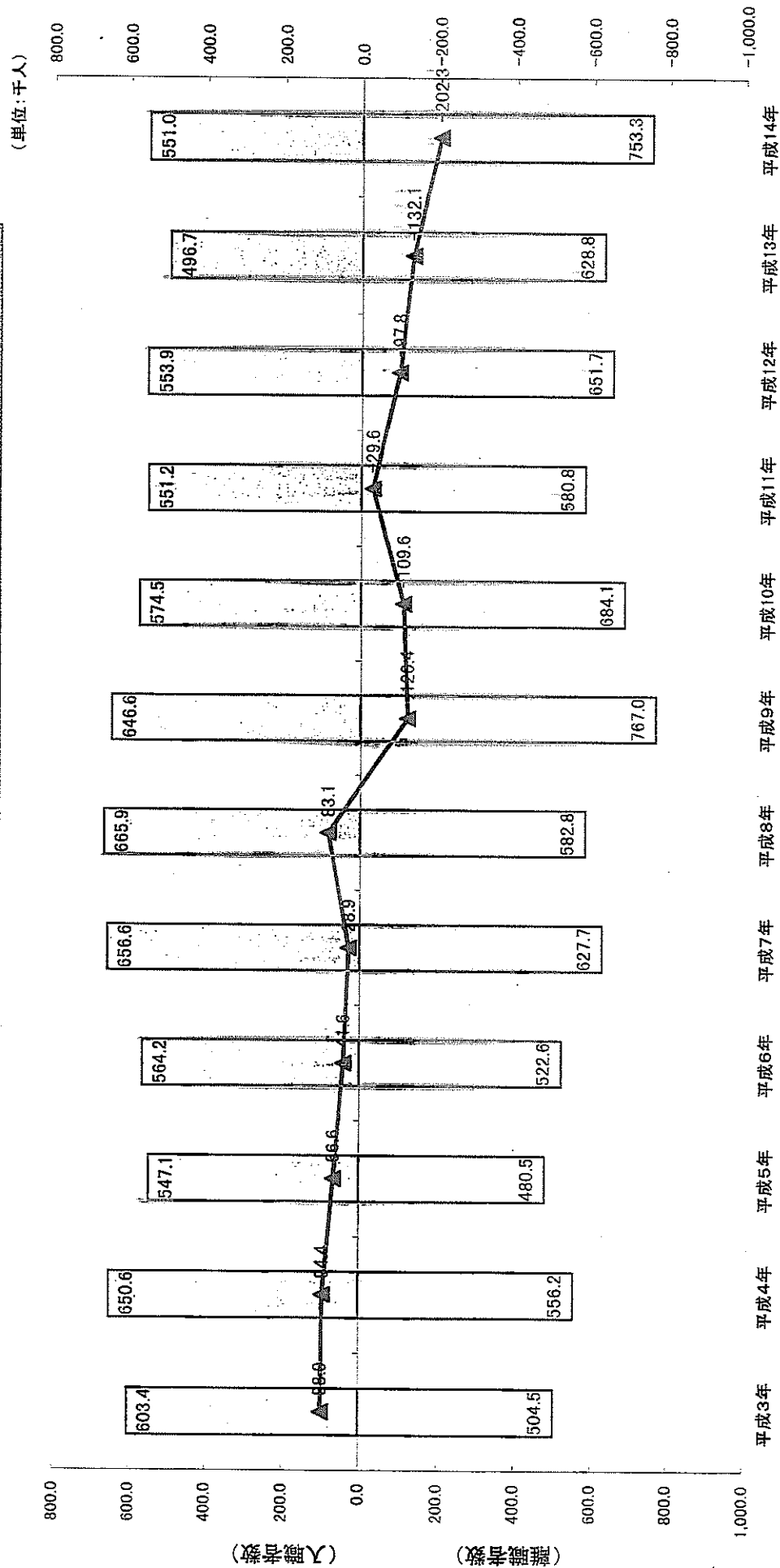


建設業における入・離職者数

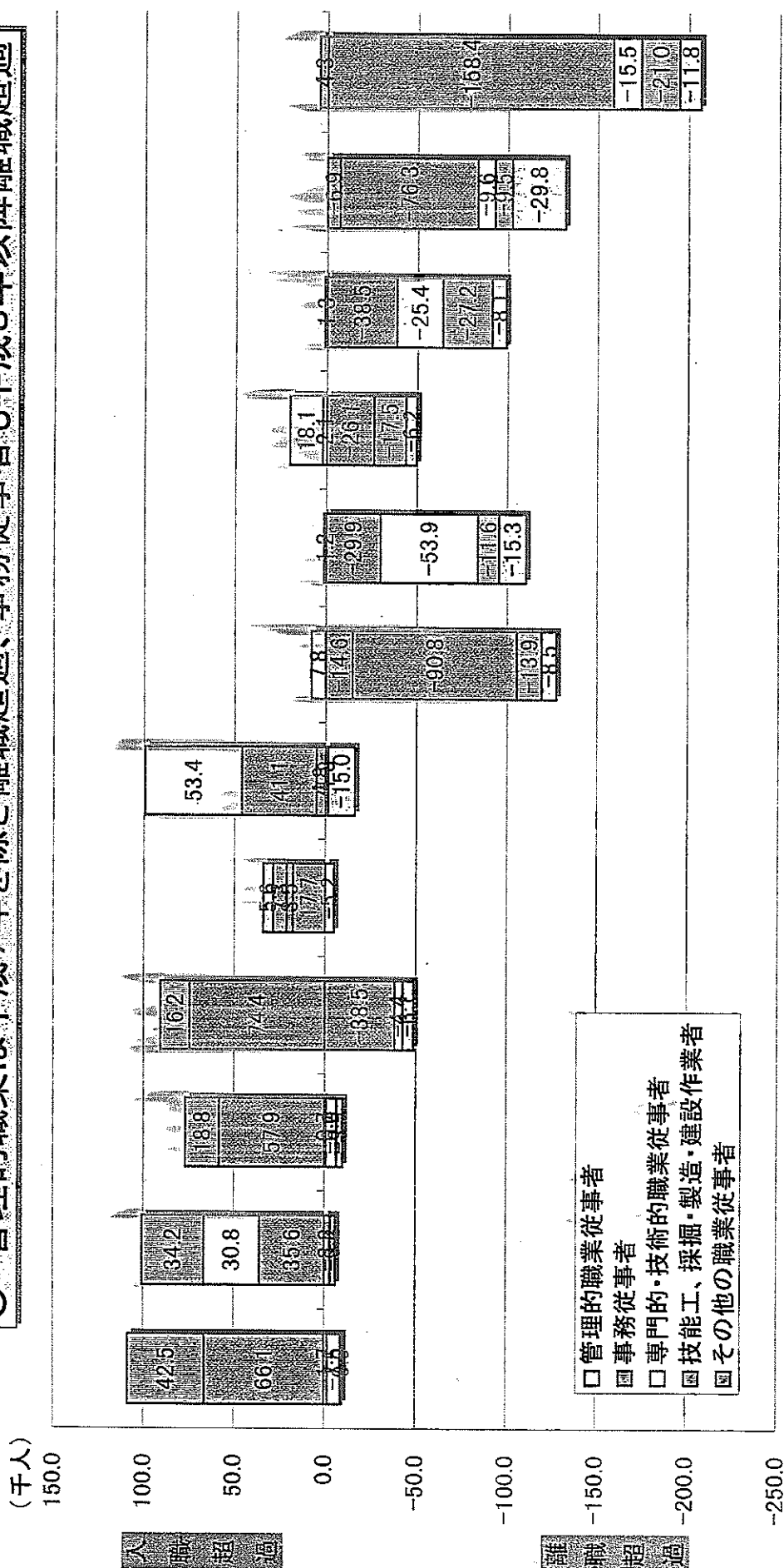
○ 入職者は平成8年がピーク、離職者は平成9年がピーク
○ 平成14年は平成9年に次いで離職者増の影響が大



資料出所：厚生労働省「雇用動向調査」
注 折れ線は「入職者数」-「離職者数」である。

建設業における職業別入・離職超過の状況

- 技能工、建設作業者は平成9年以降離職超過
- 管理的職業は平成7年を除き離職超過、事務従事者も平成8年以降離職超過



平成3年 平成4年 平成5年 平成6年 平成7年 平成8年 平成9年 平成10年 平成11年 平成12年 平成13年 平成14年

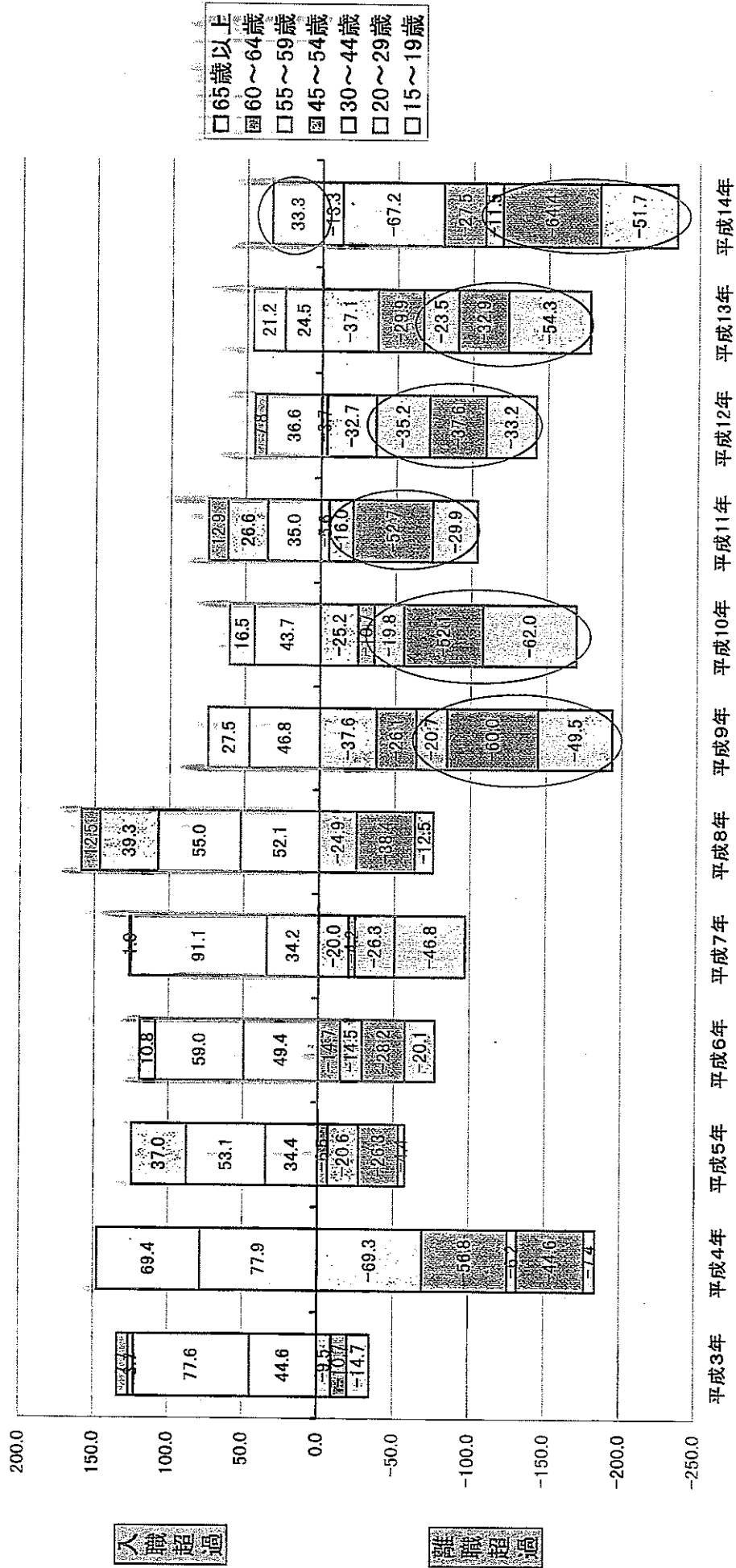
資料出所: 厚生労働省「雇用動向調査」

注: その他の職業従事者には、運輸・通信従事者、販売従事者、サービス職業従事者を含む。

建設業における年齢階級別入・離職超過の状況

- 55歳以上は常に離職超過となり、平成9年以降、大幅な離職超過
- 平成14年は15～19歳以外は離職超過

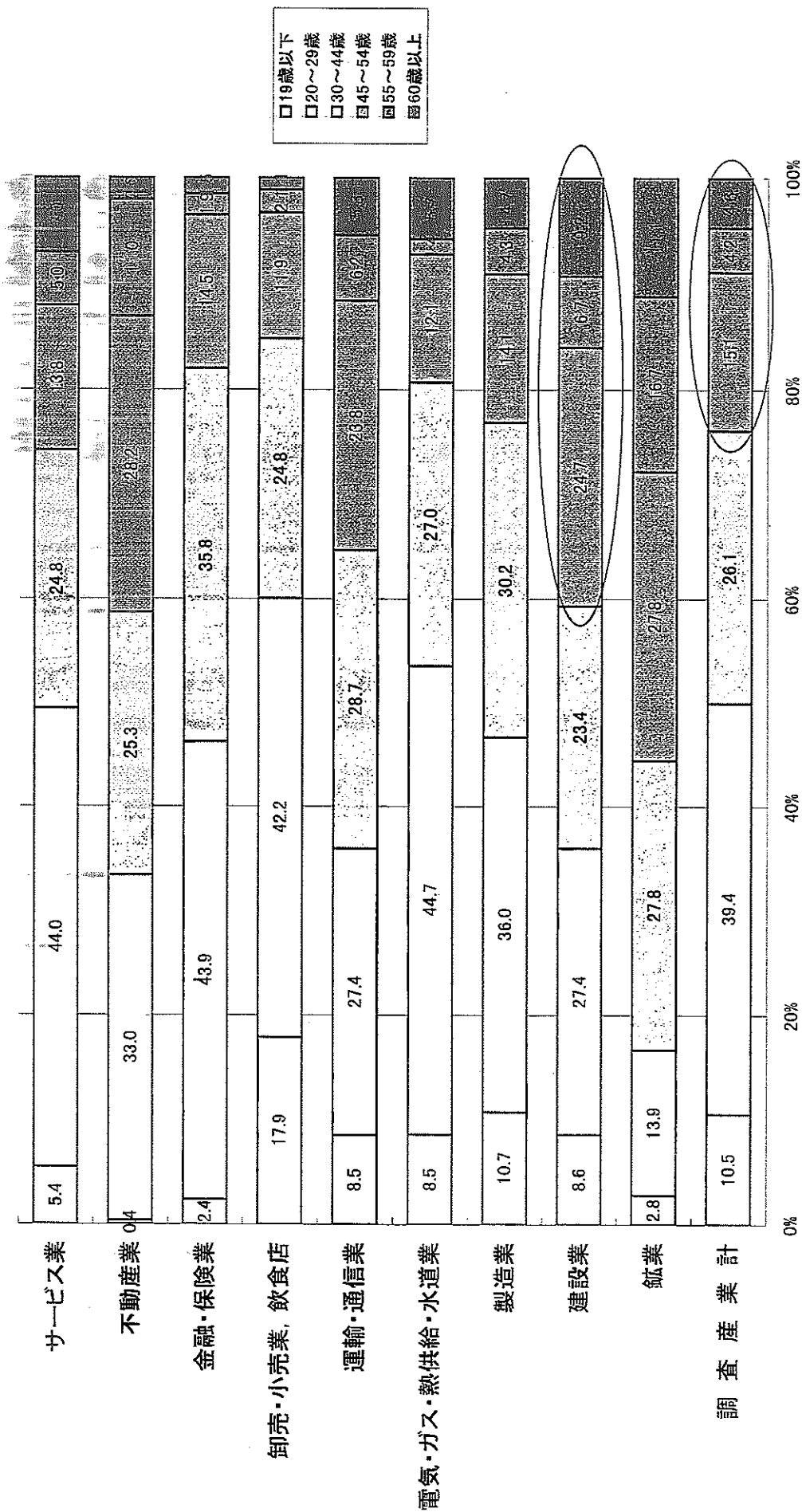
(千人)



資料出所：厚生労働省「雇用動向調査」
注 入職者数・離職者数の数値である。

産業別入職者の年齢階級別構成比

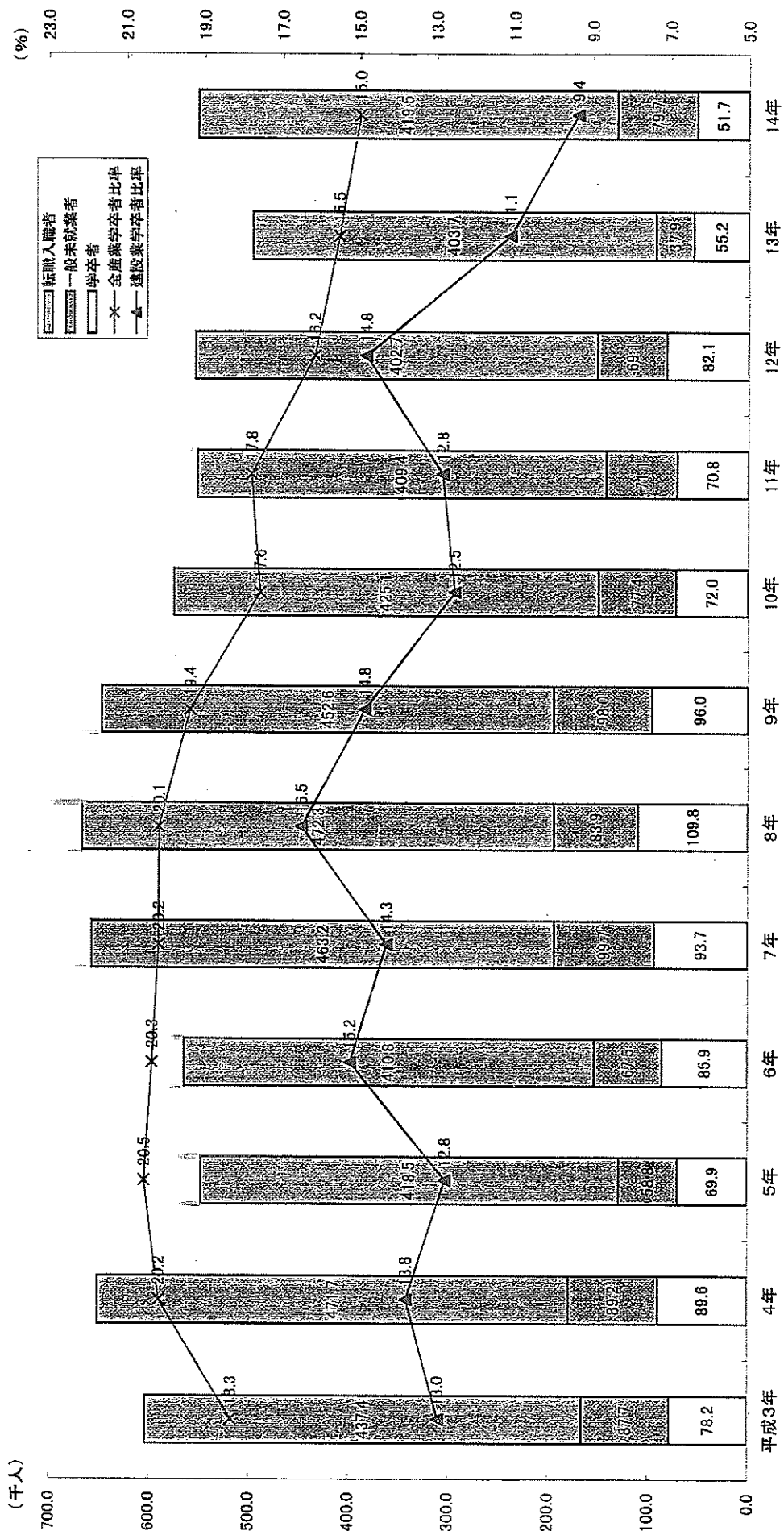
○ 建設業は、45歳以上の年齢層の入職割合が高く、特に60歳以上の割合が高い



資料出所: 厚生労働省「雇用動向調査」(平成14年)

建設業入職者の職歴別状況の推移

○入職者に占める学卒者の比率は低く、実数としても、平成8年以降減少傾向



資料出所: 厚生労働省「雇用動向調査」
注「転職入職者」とは、入職する前1年間に就業経験があった者をいう。

新規学卒就職者のうち建設業への就職者の割合の推移

